

### 第33回中国ミニバスケットボール交歓大会（岡山大会）

佐波男子ミニバスケットボール  
コーチ 丸山 高司

1日目、早朝の出発となりました。11月の県決勝大会の後、子供達はゲームというものを全くしてなく、ゲーム感覚を失っていると思い、柳井小さんから有難いお誘いもあって練習試合の為、途中で柳井に一度寄ってからの出発となりました。心配していたように、チーム状態は最悪で不安を抱いたまま岡山に向かいました。

予選リーグでは、子供達はそれでもよく頑張ってくれたのですが、2試合共敗北となっていました。体調不良で途中からプレイできなくなるなど、県決勝の時と同じように万全の状態のチームとは程遠いものとなっていました。本来の力を出し切れれば、2試合共に勝ち、決勝トーナメントにも上がれるとも感じましたが・・・そのような仕上がりにもっていけなかった私、すべて指導者の責任です。また常日頃、全国大会を目指せといつも子供達に言ってきたことにより、全国大会を逃した後の子供達のモチベーションを高めることが非常に難しく、さらに中国大会が各県の1位チームが出場していないということもあり、私自信も含めてとても難しい大会でした。できれば、本当の意味での中国大会にしていだければと思います。



### 第33回中国ミニバスケットボール交大会(岡山大会)に出場して

佐波男子ミニバスケットボール  
キャプテン 吉本 圭佑

山口県代表として、ぼくたち佐波男子ミニバスケットボールは中国大会に出場しました。

ここまで来ることができたのも、お父さん、お母さんが、バスケ部に入部させてくれて、忙しいのに練習の送り迎えをしてくれたり、どんなときも影で支え応援してくれたおかげです。そして、いろいろなことを教えてくださったコーチ。ぼくたちがコーチの言葉を理解できずに、思うようなプレーができなくても、コーチは毎日、ぼくたちにバスケの指導をしてくださいました。それから、一緒に戦ってくれたチームの仲間。始めた頃はみんな走るのも遅く、ボールを投げるのもやっとだったけど、みんなと一緒にがんばって練習をして中国大会に出場することができました。ぼくたちは、いろいろな所でいろいろな人に協力してもらっているのだと、この報告書を通して、振り返ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

はじめての岡山。慣れない宿泊。そして、大きな会場。初日、1試合目の始まる前はとも緊張しました。何をすればいいか分からなくなり、チームをまとめることが出来ませんでした。2試合目も緊張しました。優勝した乃木スピリッツと戦いましたが、速攻のうまいチームで、体も大きく、手も足も出ませんでした。二日目の交歓試合では、試合にも慣れてきて、自分なりのプレーもでき、声出しもでき、ぼくたちのチームワークを生かした試合がやっとできました。結果は、1勝2敗と苦い思いの残るものとなりましたが、”緊張をなくすために、もっと練習をする。””声出しをしたらみんなの動きが良くなる。””どんな時も自分が今、何をすればいいかを考える”ということ強く感じ、良い経験となりました。

6年生としての試合は残り少なくなりましたが、これからもあきらめず、がんばって練習をします。中学生になっても、がんばりたいと思います。